

細則様式第 4 号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏名	鈴木 秀基		
入学年度	令和 元 年度	学籍番号	19GG903
領域	総合リハビリテーション 科学領域	分野	
審査委員	主査	尾田 敦	
	副査	富澤 登志子	
	副査	高橋 純平	
	副査	對馬 栄輝	

論文題目：

変形性股関節症患者における腹横筋の活性と身体機能の関係

審査結果要旨：

本研究は、変形性股関節症に対する人工股関節全置換術（THA）術後の症例に対し、身体機能と腹横筋の活性の関連性を明らかにすることを目的とした研究であり、術後の歩行速度に対する腹横筋の活性の影響を検討し、下肢機能のみではなく腹横筋の影響も加味する必要性を示している。

腹横筋の活性の程度を評価するために、超音波エコーにより安静時呼気終末時の安静時筋厚と腹部引き込み運動時の収縮時筋厚を測定し、腹横筋収縮率として使用しており、THA術前群と術後群は健常者に比べて有意に低値であり、腹横筋収縮率が低下しているということがわかったこと、そして歩行速度に対しても有意に関連性があることが示されたことは新たな知見である。

これらの知見は、当該領域の理学療法に風穴を開けるものであり、従来の治療内容に加え体幹機能の評価・治療が必要であることを示している。種々の質疑応答においても内容をよく理解し、国内外の先行研究との関連性を踏まえた自らの回答を述べていた。

本研究の遂行にあたり、計画・実施・データ処理・解析等の過程において申請者は独立した研究者として高い研究遂行能力を要するとともに高い倫理観を身につけていることが、学位審査論文および学位審査会においてうかがわれた。したがって、申請された学位審査論文は博士の学位に値すると判断した。

最終試験 令和 5 年 1 月 19 日

試験の結果は 合格 ・ 不合格 と判定する。